

令和7年第6回

沼田町教育委員会定例会会議録

※非公開に係る議案を除く

# 令和7年第6回沼田町教育委員会定例会会議録

1. 期 日 令和7年12月1日（月）午後4時00分～午後5時25分

2. 会 場 沼田町生涯学習総合センター 1階会議室

## 3. 出席委員

教 育 長	三 浦 剛
教育長代理	青 木 健 治
委 員	松 尾 敦 史
委 員	林 里 美
委 員	寺 木 佳 奈

## 4. 出席職員

課 長	赤 井 圭 二
参 事	春 山 顕 一
主 幹	沼 本 次 登
主 査	前 田 直 輝

## 5. 議 事

議案第21号	令和7度（令和6年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について
議案第22号	令和8年度沼田町奨学生の募集について
議案第23号	令和7年教育行政報告について
議案第24号	令和7年度沼田町一般会計教育費補正予算(案)について

## 6. 付議案件は次のとおり

前会会議録の承認  
教育長の報告  
その他

## 【開会】

### (教育長)

それでは、ただ今から、令和7年 第6回 沼田町教育委員会 定例会を開会いたします。

議案の2番目、前会会議録の承認について、を議題といたします。課長より説明をお願いします。

### (赤井課長)

令和7年10月10日に召集されました令和7年第5回教育委員会定例会は、全委員に出席いただき、職員は4人が出席いたしました。

9月に開催された第3回議会定例会で教育長に対する一般質問があった件について報告しております。

一般質問の1件目として、篠原議員より「補助教材及び学用品に係る保護者負担の軽減を図っては？」との質問に対し、文科省通知の趣旨を踏まえ、該当するものについては、町費により負担していく方向で検討を進めると答弁したことを報告しております。

2点目として、三浦議員から、「青少年スポーツ文化振興基金」への賛同を広く周知し、寄付を募って「沼田っ子へのサポートの充実を図っては？」との質問に対し、寄附いただく方の意向に沿った基金に特定できる形を作り、寄附金控除の仕組みも含めて周知できるよう検討していくと答弁したことを報告しております。

最後に、10月の学校行事として「職場体験学習」の実施。また、社会教育事業では「明日萌の里、ホテルの里ウォーキング」を実施したこと、ラジオ体操といきいき大学については、無事終了したことを報告しております。

次に議案については1件のご審議を頂いております。

その1件の議案として、議案第20号 沼田町教育委員会教育長職務代理の指名について、青木委員に再任いただくことで承認いただいております。

以上、前会会議録の報告とさせていただきます。ご承認くださいますようよろしくお願いいたします。

### (教育長)

前会会議録のご説明が終わりました。お諮りいたします。これを承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

### (教育長)

異議なしということで、前会会議録は承認することといたしました。

議案の3番目、教育長の報告について、申し上げます。

いよいよ冬本番を迎えようとしています。道内でもインフルエンザとコロナの感染が広がっておりますが、沼田小・中学校では、数名の感染者の報告は受けていますが、学年閉鎖等に至るほどの状況ではないようです。改めまして学校には感染対策の徹底を図るとともに、家庭における感染予防対策の周知など、適切な対応を進めてまいります。その他の報告事項につきましては、後ほどの審議いただきます教育行政報告でのご提案をもってご報告とさせていただきます。

それでは、次に4番の議事に入ります。

議案第21号 令和7度（令和6年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について を議題といたします。説明をお願いいたします。

### （赤井課長）

議案第21号 令和7年度（令和6年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について。令和7年度（令和6年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について別冊のとおり提出する。令和7年12月1日提出。教育長名でございます。

先に配布しておりました点検評価報告書をご覧ください。毎年、教育委員会の活動状況についての点検評価を法律に基づいて実施しています。令和6年度に実施した教育行政に関する施策、その主な事業について点検評価を行ない、また、有識者からの意見を頂いておりますので、ご審議の程よろしく申し上げます。なお、評価基準については、AからDの4段階評価となっておりますので、そちらを中心にかいつまんで説明いたします。全部で60事業ありますので主なものを説明したいと思います。

それでは、3ページから説明して参ります。簡単に説明します。まず、学務関係から二十数件、説明して参ります。で、1件目の一貫連携推進事業については、評価についてはAとしております。令和6年も沼田学園の一貫連携教育を進めており、特に沼田学園運動会や夜高あんどん祭りは、特色のある学習行事として学年間の交流や、自己有用感を育むために大きな成果を上げております。勿論、沼田っ子アクションプランに基づいて、様々な教育活動を実施しております。

2番目の教育総合アドバイザーについては、教育委員会で1名配置しておりまして、A評価としております。

3番目の学力向上補助教諭ですが、これはDと辛口の評価をしております。なかなか人材の確保が難しいということで、令和6年度に補助教育の配置をすることができませんでした。

4番目の小中学校の学力向上対策事業です。これは教育委員会の方で行っている学力向上のための補助・対策となる事業でございます。評価については、Aとしておりますが

教育委員会の方で漢字検定や、英語検定、算数・数学検定への受験を促しておりました、任意ではありますが、高い受験率で取り組んでいただいております。その検定料について、助成しており、499千円の決算となっております。

5番目の公設塾「みらい」についても評価はAとしております。決算額は170千円ということで、現在も基礎学力の定着のために毎週平日を基本に取り組んでおります。

6番目の学習サポート事業「明日萌」についてですが、教育総合アドバイザーや大学生の協力により実施しております。平日週1回や、長期休業中に学生サポーターを配置して実施しております。これも評価はAとしております。

7番目の小矢部市沼田町青少年交流事業については、去年は蟹谷中学校から男子4名女子4名を招いて実施いたしました。評価はAとしております。

8番目のスクールカウンセラーについては、例年通り配置を行っております。

続きまして、7ページ10番ですが、小学校体力向上対策事業について、評価はAとしております。これはスポーツクラブのN-Linkに委託して運動の土台作りとしてコーディネーショントレーニングを行っております。例年30コマやってきたんですけど、令和7年度からは40コマまで増やしており、今後も充実を図っていきたいと考えております。

8ページ目12番の小中特別支援学級の学習支援員の配置については、評価Aとしております。小学校に5人の支援員。中学校に1人の支援員を配置して、学習支援や学校生活、特別支援学級のサポートを行っております。

10ページ目15番の外国語指導助手委託事業についてです。昨年度決算は5,808千円であり、評価はAとしております。デイビット先生は、去年はまだ企業からの派遣ということで、英語課のTTとして、ALTの立場で活躍いただいております。令和7年度には直接雇用ということで、町職員となっております。今後も英語教育の推進に向けて、ご活躍いただく予定です。

16番の農業体験については、令和6年も引き続き5年生の田植え体験や稲刈り体験などを継続しており、基幹産業の農業を体験いただいております。評価はAとしております。

17番の教職員住宅についてですが、去年は大きな修繕はありませんでした。7棟11戸すべて先生方に入居していただいております。評価はAとしております。

18番のキャリア教育についても、例年どおり職場体験を実施しております。評価はAとしております。令和7年度はさらに中学校1年生を対象にソクラテスマーティングを開催する予定です。

19番のポートハーディ国際交流推進事業ですが、去年は派遣をしておりませんので、実績は0円となり、Dという評価にしております。

20番のスポーツ・文化活動の周知についてですが、評価はBとなっておりますが、

中体連での子どもたちの活躍を、ゆめっくるでの掲示や商業施設への看板の設置によって、町民に周知したものとなります。

21番の部活動の地域移行についてですが、昨年はBという評価にしております。令和6年度は協議会を立ち上げ、北空知1市5町で検討会議を実施しております。特に昨年は北空知広域でセミナーを開催したり、マルチスポーツ体験会を中学校で実施しました。すべて国の委託事業で実施しておりますので、決算は95千円と安価で済んでおります。

以上、ここまでが学務に係る事業です。ここで一旦区切りたいと思います。ご質問等あればよろしくお願いたします。

なお、点検評価に係る報告書を配布しておりますのでご参考まで。学識経験者からのご意見を頂いております。今、申し上げました学校教育関係につきましては「聴取した意見」という箇所に記載しております。一貫連携については、このまま推進してほしいということでした。また、補助教員が確保されていないことについては、人材についてしっかり関係部局と相談してほしいという意見がありました。また、高校の進学先として、旭川市や滝川市に行く子が多くなっております。子どもたちのやりたい気持ちをバックアップしてほしいとのことでした。また、小矢部市のホームステイは、今後難しいということでも両市町間で話し合っているところですが、ホームステイに限定せず、夢未来を活用するなど、未来に続く交流をしてほしいということでご要望がありました。また、ポートハーディ交流事業もよいが、例えば中学生にアンケートを取って、海外や国内で研修に行くのもよいのではという意見もありました。あくまで、ポートハーディは、国際交流・姉妹都市提携の枠組みでやっておりますので、それとは別でという考えと思います。最後に、教育支援員については引き続き人員を確保するようご意見を頂きました。

以上、学務・学校関係についてでした。

#### (教育長)

学務関係の説明が終わりました。ご質問等ございますか。

#### (青木代理)

8ページ12番の小中学校への特別支援員の配置についてですが、評価の記載が「確保することができたい」となっていますが、「確保することができた」の誤りですね。

それと、10ページ15番の外国語指導助手委託事業にある「人工」という表現は、「人員」の方が分かりやすいと思うのと、13ページ21番の部活動地域移行にある「ステークホルダー」という表現も「各関係機関」などの表現の方が分かりやすいと思います。

#### (教育長)

ありがとうございます。他にございますか。

(松尾委員)

1 2 番の小中学校への特別支援員の配置についてですが、費用は全額町の単費ですか。

(赤井課長)

はい。全額町の負担で、補助金等はありません。

(林委員)

2 番の教育総合アドバイザーについて、令和 5 年度から 6 年度で事業費が増額している理由は。

(前田主査)

令和 6 年度から会計年度任用職員の賞与の考え方が変わったことによります。

(赤井課長)

今説明があったように、期末手当・勤勉手当が職員と同じ考え方となり増額しています。また、その他に、給与表が改められて向上した部分もあります。

(寺木委員)

1 番の一貫連携教育推進事業の今後の課題・見直しの記載についてですが、「学力向上」ではなく、「学校力向上」という記載で間違いありませんか。

(三浦教育長)

学校の管理運営能力の向上、学校全体のことという考えですよ。

(前田主査)

はい。その考えで記載しております。

(三浦教育長)

私から 1 点補足です。補助教諭の関係ですが、令和 6 年度については、現在学園にいる期限付の先生をあてにしておりました。実際の教員人事を進めていく中で、補助教諭としてではなく、産休代替として当ててほしいという依頼が道教委からあり、対象がいなくなったという経過があります。令和 7 年度についても退職された先生をあてにしていたのですが、最終的な調整がつかず欠員となってしまいました。ご意見としてもいただいておりますが、教員の人事配置も含めて教育局とも協議をしながら進めていきたいと思っております。

また最後に何かありましたらご意見をお願いいたします。続いて社会教育に入ります。

### (赤井課長)

13ページ22番から続けさせていただきます。シン・再開の塔についてです。評価についてはBとしておりますが、これは沼田中学校卒業後、通常10年で再開の塔を開催するのですが、20年・30年・40年経った方も集まってもらおうということで実施しております。去年は全ての対象学年とはなりませんでしたが26回生と36回生でそれぞれ実施していただいております。20人以下だと10万円、10人以下だと5万円の補助となり、計150千円を支出しております。

23番の子ども文化劇場については、Aと評価しております。去年は影絵劇。これは隔年での実施となります。

24番の中学生ボランティアについては、すぐにボランティアとして活動できる組織ができておりません。その分、北空知のシニアリーダー等に積極的に参加いただいております。評価はCということで辛口で見えておりますが、研修会には参加しているところです。

25番の家庭教育支援についてですが、評価はCということで、令和5年度と令和6年度に未次施でございます。令和5年度は、まだコロナ禍ということもありましたが、それ以降、中々P連との調整ができませんでした。いつもP連と同時開催として実施していましたが、難しかったという事情がございます。

26番の町民交流フェスタについては、評価Aとしております。これは社会教育委員が中心となり、去年も今年も大盛況でございました。様々なブースを体験コーナーとして出展したり、ファミリーコンサートを行っております。これらを集約して、同時開催しております。体験コーナーには講師として様々な方にも来ていただきました。

27番の生きがい講座について、去年はチョークアートや世界のチョコレート作りといった様々な趣味の講座を行いました。評価はAとしております。今年はずでに10回以上の生きがい講座を行っており、学び続ける環境をさらに整えているところです。

28番の20歳を祝う会について、今の成人年齢は18歳ですが、町としては20歳になったことを祝う会として継続して実施しております。評価はAとしております。

29番のサークル活性化支援については、文化・芸術を普及するために補助金を出して活動をしていただいております。特に去年はファミリーコンサートを町民交流フェスタ内でやっていただきましたが、これもこの事業を活用して実施してもらっております。その他に伝筆体験会などを実施しています。活動を休止する団体も出てきて、さらに芸術普及促進すべきところですので、B評価としております。

30番のいきいき大学について、評価はAとしております。年5回開催しております。令和6年度のテーマは、「楽しい終活」をテーマに講座や修学旅行を実施いたしました。今後は60歳まで対象を拡大して、色々な方が一緒に学べるような学習セミナーを考えて

いきたいと思います。

31番の区域外就学プロジェクトです。これは昨年から実施しているtwo-way留学です。昨年は、夏休み期間中から2学期にかけての短期で1組の受入をしました。短期間でしたが、沼田町に住んでいただいて、概ね3週間ほど滞在いただきました。評価はAとしております。経費は発生しておりません。

32番のシニアリーダー研修会については、先程もお話したとおり、中学生のボランティアも含め、今後のリーダー育成として年に2回養成のための研修会を実施しております。これは北空知で実施しています。評価はAとしております。

33番の自然体験事業と、34番の自然体験授業事業についてです。33番は、社会教育として、デイキャンプや宿泊キャンプ、環境学習プログラムを自然学校に委託をして実施しております。評価はAとしております。34番の授業の方は、学校のカリキュラムの一環として、学校の授業時間でほたる学級や小学校3・4・6年生で実施しており、自然学校に委託をして実施しています。

35番の沼田っ子の夢応援事業については、合宿通学の事業です。これも例年通り3泊4日で実施しております。社会教育委員による職業の講話も積極的に行っており、またグループワークでの話し合いも子どもたちにしてもらいながら、充実した合宿通学にしております。評価はAとしております。

36番の芸術文化鑑賞ですが、昨年は開拓130周年記念事業としてオリンピックの平野早矢香氏を招聘して公演会を行いました。評価はBとしておりますが、昨年も参加者が120～130名でしたが、もう少し気軽に講演会を鑑賞できるようにPRの仕方も含めてしっかりとやっていきたいという反省も含めての評価です。

37番の文化財の保存管理と、38番のクラウド15号蒸気機関車については、引き続き保存管理をして参ります。適正に管理はしておりますが、展示だけでなかなか活用までには実施できていないところもあります。こうした反省を含めてB評価とさせていただきます。特にクラウド15号は委託をして管理しております。今後は、列車を引き出すためのアントの修繕を早急に対応してきたいと思います。

39番の本願寺駅通についても維持管理をしておりますが、今後の活用と、これを保存している北竜地区も高齢化しており、掃除など色々な面でご協力いただいていたところですが、この辺も見直ししながら、しっかり展示活用して行きたいと考えておりますので、B評価としております。

40番の町民芸術祭についてですが、ご存知のとおり、毎年11月に行っている展示・芸能発表会です。昨年はコロナ明けでしたが、15団体の芸能発表があり、観覧者の人数も増えてまりました。評価はAとしております。

41番の文化連盟の活動助成は、補助金を各サークルに出して有効に活用いただいているものです。昨年は文化連盟が50周年を迎えました。高齢化はしておりますが、側面

的に支援をして参りたいと思います。

4 2 番のぬまたっ子サポーターについては、ハガキを送って通年で募集しておりますが、こちらも高齢化している中で、もっと人を増やした方がいいのではという意見もいただいておりますし、コミュニティスクールにも入っていった方がいいのではという意見もいただいております、Bと評価しております。

4 3 番の社会教育施設の管理については、公民館ということでゆめつくと各地区の活性化センターのことです。B評価としておりますが、今後は災害の避難所として、特に夏はクーリングシェルターにもなっておりますし、ゆめつくるも建設から二十年以上経過していることから、改修も含めて検討を進めていく必要があるのではないかと考えております。

4 4 番の町民スポーツまつりについてですが、元々の町民体育祭を改良して昨年から開催しております。参加者数は300人ということで多くの町民の参加を得られたということで、評価はAとしております。今後も持続可能な形でやっていきたいと考えております。

ここで区切らせていただきます。

#### (教育長)

ご質問等ございますか。

#### (林委員)

2 2 番のシン・再開の塔については、20年、30年、40年の対象の年じゃないと該当にならないんですかね。

#### (春山参事)

そうです。教育委員会で実施しているということですので、中学校の再開の塔に関連付けておりますので、卒業10年後に再開の塔に集まりますが、さらにその10年後というように節目の年に集まっていただくことで、社会的に中核になっている方や、55歳でいえば、まもなく定年になることを考えて、その節目のタイミングでふるさとを思い出してもらえたらと思っております。希望としては、毎年であったり、希望する学年も対象にしてほしいというご意見はあるのですが、検討を重ねた結果としてこの形となっております。

#### (林委員)

5年刻みでもいいのかな、という思いはあります。制度をしっかりと使っている人がいるというのは良いことだと思います。きっと説明もされているのかなと。

**(春山参事)**

対象となる学年には年度初めに案内をしています。

**(赤井課長)**

意見書にも記載がありますが、例えば夜高あんどん祭りのように町に帰ってくるタイミングにうまくマッチングできるようにPRをしては、という意見もいただいております。

**(林委員)**

まだ一度も自然学校に行ったことがなくて申し訳ないのですが、外で活動しますよね。

**(春山参事)**

はい。ほたる学習館の奥にある幌新の森を中心に活動します。

**(林委員)**

クマの対策はされているのですか。

**(春山参事)**

森全体に常時音を出しているものがありますので、クマのことを気かけながら、直近で目撃情報があったときには特に注意して屋内で活動することも視野にいれながら実施しています。

**(林委員)**

柵とかではなく、音による安全対策なのですね。

**(春山参事)**

はい。対策は農業推進課の方で行っており、安全対策に問題はないと思います。

**(教育長)**

一般的な考えと同じ考えで実施しているということですね。出沒すれば屋内に切り替えるという。

**(春山参事)**

はい。例えば、温泉が閉鎖するというような事態の場合は考え方も変わるとは思いますが、平時はそのように行っています。

**(青木代理)**

36番の芸術文化鑑賞事業は、事業費が「(500)」という記載になっているのは、開拓130年の予算だからということでしょうか。

**(赤井課長)**

その通りです。そのため、総務財政課で予算を持つ形となりました。

**(松尾委員)**

31番のtwo-way留学について、現在どのようなPRをしていますか。

**(春山参事)**

町のホームページに掲載しています。まだ珍しい事例で、全国的には徳島県のデュアルスクールというものが有名です。そのため、徳島県と連携しながら「デュアルスクール」で検索した時にヒットするようにしています。闇雲に案内しても、農村留学を目的としている人には中々届きません。どういった文言でヒットするかというところを考えると、徳島県のデュアルスクールに行きたい人に興味を持ってもらえるようなホームページの作りにしてあるのと、徳島県にも沼田町で同型の事業をやっているのを伝えております。徳島県の取組は全国的に人気で、中々受入も難しくなっている程なので、北海道沼田町でも実施していることを一言声かけしてもらえるようになっています。そのような流れで、問い合わせが来るのが、多くなってきております。

**(松尾委員)**

移住の関係でよく住民生活課が東京で宣伝しますよね。ちょっと暮らしの中に含めて宣伝してもらっているのですか。

**(春山参事)**

そこに含めて宣伝してもらっています。保護者世代の2拠点生活として、仕事しながら田舎暮らしもできるということの課題のひとつとして、大人はよいが子供は連れていけないという課題がありました。そこに対応できるように、というのがこの事業です。

**(教育長)**

それでは、次に進めてよろしいでしょうか。続きの説明をお願いします。

**(赤井課長)**

はい。残り社会体育と施設関係になります。一気に最後まで説明したいと思います。

45番のおはようラジオ体操についてですが、137日間、合計5,684名に参加いただきました。1日平均41名にご参加いただきました。評価はAとしております。

46番の明日萌・ほたるの里ウォーキングについて、昨年は3コース10キロ・6キロ・3キロで、10月に実施しました。参加人数が64名ということで少なく、年々少なくなってきたしております。今年はまた増えましたが、昨年は少なかったため、Bと評価しております。

47番と48番は、パークゴルフ場の運営とそれから各種パークゴルフ大会についてです。令和6年度は利用実績が微増しましたが、これはコロナ禍から見てです。微増したものの、相変わらず年々の減少傾向にあります。大会も3大会やっております。教育長杯、町長杯、すずらん杯とやっておりますが、母体であるパークゴルフ協会の人数が増えず、参加者も減ってきております。ともにB評価です。

49番のスポーツ協会活動助成は、団体に対する活動助成です。協会には現在、10団体が加盟しております。評価はAとしております。

50番の図書館についてですが、例年どおりで主な事業は記載にあるとおりです。様々な読み聞かせやお話会などを行っております。評価はAということで、地道に活動を行っております。図書館ボランティアもおりますし、会計年度任用職員にも働いていただいております。

51番の図書館フェスティバルについて、あまり支出はない事業でして、今年も12月に開催する予定です。

52番のB&G海洋センター、プールの運営について、令和5年度中にろ過機などの修繕を行い、令和6年6月にリニューアルオープンしております。また、昨年は事業を行いました道内11市町村の海洋センターから69名の選手が参加し、北海道ブロックとしてスポーツ交流交歓会を行い、非常に盛り上がった大会となりました。利用人数が伸びていないということもあり、Bという評価にしております。

53番の水泳教室について、幼い内からの水泳指導を行っております。評価はAです。外部委託による指導も行っておりますので、301千円の事業費がございます。

54番のスキー場についてです。スキー場はリフトとロッジの更新から3シーズンが経過しました。令和6年度が一番リフトの輸送人員が多く、10万人を超えて11万5千人以上となり、前年度から約18%の増となっております。リフト代として4,929千円を収入しております。評価はAとしております。

55番と56番については、化石研究事業と化石体験館の運営となります。これはレプリカ工房のスタッフの仕事も含めての記載です。しっかりと化石資料を制作しておりますし、体験館についても昨年は展示の充実に力を入れました。入館者は5,006人ということで、前年がコロナ禍だったこともあり、2%以上入館者が増加しております。

57番のレプリカ工房について、先程の化石体験館とも連動しますが、現在でも会計

年度任用職員2名を雇用しまして、日々、レプリカ作成やクリーニング作業をしていただいております。

58番の宿泊交流センター夢未来についてです。令和6年度は964人の利用があり、前年度より25%増えています。評価はBとしております。

59番の野球場についても、年々利用が少なくなっております。実際のところ、野球チームも少なくなっております。B評価としてますが、できるだけいい環境で練習を、ということで芝の改修も検討している最中です。

60番の社会体育施設についてですが、これは主に町民体育館についてです。町民体育館については、現在、民間企業に管理を委託しております。利用者については、6,622人ということで、前年度より450人程増えています。これもコロナ禍の影響で前年比として増えた形です。今後、体育館の利用率を上げたいところですが、老朽化しているということもあり、B評価としております。

61番の町民会館についてですが、こちらも老朽化しており、利用者数は7,248人です。こちらも前年のコロナ禍の影響で35%増えています。社会福祉協議会への委託で管理しています。一番懸念されるのは、今後の修繕です。特にボイラーや躯体が全体的に老朽化しておりますので、これらの施設改修が予想されます。評価はBとしております。

以上、45番から61番まで社会体育と施設関係について説明いたしました。

#### **(教育長)**

今ほど説明された範囲の中で、ご質問等ございましたらお願いします。全体を通してでも結構です。

#### **(寺木委員)**

20番のスポーツ・文化活動の周知についてですが、これは青少年スポーツ文化振興助成事業に応募した子どものみを掲示するという理解でよろしいですか。

#### **(春山参事)**

基本的にはその通りです。その他にも、事業の助成対象となっていない中体連で好成績を収めたものについても、可能な範囲で周知をするようにしています。

#### **(寺木委員)**

出場情報を拾い上げる仕組みがあるのでしょうか。例えば、学校の先生から教育委員会に情報が行くというような。もしくは、完全に対象者からの申請式という運用でしょうか。

**(春山参事)**

運用としては対象者からの申請式です。学校から情報が来るといってもないので、できるだけこちらで情報収集するようにしておりますが、全ての町民を拾い上げることはできていないと思います。

**(寺木委員)**

そこに漏れがあると不満に繋がると思います。子どもにとって折角の機会なので、漏れないようにする仕組みの構築をお願いできればと思います。例えば、町外の少年団に参加している等、情報を拾いきれない方がいるかもしれないと感じました。

**(春山参事)**

もしそういう方をご存知でしたら、今からでも間に合うので仰っていただければと思います。

**(教育長)**

町外の少年団活動を拾いきるのは難しいですね。

**(寺木委員)**

小学生はいい成績が取れると嬉しくて、学校に行った時に先生に話をするんですね。先生から拾い上げるような仕組みが必要なのかなと思います。

**(教育長)**

それで言えば、助成対象には高校もあるんですね。そちらも全て拾いきるのが中々難しい。

**(松尾委員)**

高校を拾い上げるのも大変ですね。

**(林委員)**

保護者から聞ければいいんですけどね。

**(寺木委員)**

この制度が皆に開かれてることが伝わればよいと思います。

(春山参事)

中々、対象となる方の情報をいただけないと難しい部分もあります。町内の少年団や部活動はわかるのですが。

(松尾委員)

高校生も対象となると、全道各地の学校にいたらわからないですね。

(青木代理)

自己申告とするしかないですね。

(教育長)

現状、そのようになっています。気付いたところには声掛けはしていますが、不公平になってしまう部分もあります。

(松尾委員)

高校生も全道大会出場が要件ですか。

(教育長)

高校生は全国大会が要件となります。

(教育長)

いずれにしても、今後も気を向けるようにしましょう。

(春山参事)

承知しました。

(教育長)

他に何かございますか。

(質問等なし)

(教育長)

それでは、こちらの学識経験者への意見聴取をベースに議会に報告することと法律で決まっておりますので、そのような取扱いをさせていただくということでもよろしいでしょうか。たくさん項目があるので、中には補助教諭の関係等、評価というよりも人事に絡むこ

となので、一度整理させていただいた上で議会に報告するというところでよろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。議案第21号につきましては、地方教育行政の組織及び雲影に関する法律、第26条の規定に基づき、提案のとおり沼田町議会に報告するということをご異議はございませんか。

(異議なしの声あり)

(教育長)

異議なしということで、議案第21号は提案のとおり議会に報告することに決定いたしました。

次に、議案第22号 令和8年度沼田町奨学生の募集について を議題といたします。説明をお願いいたします。

(赤井課長)

はい。議案第22号 令和8年度沼田町奨学生の募集について。沼田町奨学資金貸付基金条例施行規則第3条の規定により、令和8年度沼田町奨学生の募集を下記のとおり決定する。令和7年12月1日提出。教育長名でございます。

募集人員につきましては、次年度も、高等学校2名、大学等4名。願書の提出月日については、令和8年3月27日金曜日まで。対象者は沼田町民であること。以上で、奨学生の募集をさせていただきたいと思っております。ご審議の程、よろしくをお願いいたします。

(教育長)

説明が終わりました。ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

(質問等なし)

(教育長)

よろしいですか。それではお諮りいたします。議案第22号について、提案のとおり決定することをご異議はございませんか。

(異議なしの声あり)

(教育長)

異議なしということで、議案第22号は提案のとおり決定いたしました。

ここでお諮りいたします。沼田町教育委員会会議規則第5条の規定によりまして、議案第23号 令和7年教育行政報告について および、議案第24号 令和7年度沼田町一般会計教育費補正予算（案）については、秘密会としたいと思います。ご異議はございませんか。

(異議なしの声あり)

(教育長)

異議なしと認め、議案第23号と議案第24号については、秘密会とすることと決定いたしました。

これより秘密会といたします。

議案第23号	令和7年教育行政報告について	一部修正の上 可決・提出
議案第24号	令和7年度沼田町一般会計教育費補正予算（案）について	原案のとおり 可決・提出

(教育長)

ここで秘密会を解きます。

以上をもちまして、本日本日予定していた議案は全て終了いたしました。これにて、令和7年第6回 沼田町教育委員会 定例会を終了いたします。お疲れ様でした。